

幡多地域アクションプランの進捗状況等について（H21～23年度）

H24. 1. 10 幡多地域本部

1 地域アクションプランの実施状況（総括）

(1) 総評

① 産業振興総合補助金の執行状況

・21年度は、37事業のうち5市町村7事業に 83,430千円を交付した。

事業名	市町村	率	対象額(千円)	補助額(千円)	審査日	完了日	備考
しみずの元気再生事業	土佐清水市	2/3	38,711	25,807	H21. 4. 22	H22. 3. 15	㈱元気プロジェクト
黒潮印ビジネス創造事業	黒潮町	2/3	12,712	8,474	H21. 4. 28	H22. 3. 12	黒潮町、協議会
大月まるごと販売事業	大月町	2/3	19,907	13,271	H21. 4. 28	H22. 3. 15	第3セクター道の駅
魚加工施設の整備事業	宿毛市	2/3	16,165	10,702	H21. 5. 26	H21. 11. 30	すくも湾漁協
カツオ文化のまちづくり事業	黒潮町	2/3	12,615	8,410	H21. 6. 22	H22. 3. 10	黒潮町、商工会
農業所得安定向上支援事業	三原村	2/3	24,166	16,110	H21. 7. 21	H22. 3. 10	村農業公社
カツオ用活餌確保事業	黒潮町	1/6	3,938	656	H21. 12. 22	H22. 3. 31	漁業振興課
審査会対応(7件)			128,214	83,430			

・22年度は、47事業のうち6市町村15事業に 354,840千円を交付した。

事業名	市町村	率	対象額(千円)	補助額(千円)	審査日	完了日	備考
直七搾汁施設整備事業	宿毛市	2/3	70,167	46,777	H22. 3. 18	H22. 11. 22	直七生産組合
農業所得安定向上支援事業※	三原村	2/3	53,841	35,894	H22. 4. 23	H23. 3. 10	村農業公社
ユズ搾汁施設整備	四万十市	1/6	130,777	39,667	H22. 4. 23	H23. 3. 24	J A高知はた
苺を核とした6次産業	大月町	1/2	2,938	1,468	H22. 4. 27	H23. 3. 15	(株)苺氷本舗
大月まるごと販売事業※	大月町	2/3	17,656	11,770	H22. 4. 27	H23. 3. 31	町振興公社
黒潮印ビジネス創造事業※	黒潮町	2/3	76,518	49,867	H22. 4. 27	H23. 3. 31	町特産協
水産物流通加工体制整備事業	宿毛市	1/2	80,974	39,782	H22. 5. 21	H23. 2. 28	(株)ピアサテーター
サメ加工利用委託事業	土佐清水市	2/3	1,900	1,266	H22. 5. 21	H23. 3. 10	水産振興会
民間企業連携・水産販路拡大	宿毛市	1/2	102,172	50,000	H22. 6. 16	H23. 2. 28	すくも湾漁協
カツオ文化のまちづくり事業※	黒潮町	2/3	28,667	19,111	H22. 6. 16	H23. 3. 15	町、町商工会
四万十栗加工施設整備事業	四万十市	1/2	25,145	12,572	H22. 7. 28	H23. 1. 31	㈱しまんと美野里
土佐清水市地域再生計画	土佐清水市	2/3	65,500	43,666	H22. 10. 27	H23. 3. 14	土佐食(株)
審査会対応(12件)			656,255	351,840			
竜ヶ浜自然体験及び環境教育型施設整備基本計画調査事業			2,835	1,000	—	H23. 2. 22	大月町(1/2)
竜串観光再発見基本計画策定事業			2,069	1,000	—	H23. 3. 15	土佐清水市 1/2
四万十市の地元食材を使用したかりんとう開発販売事業			2,085	1,000	—	H23. 3. 11	四万十市(1/2)
ステップアップ事業(3件)			6,989	3,000			
計(15件)			663,244	354,840			
計(2ヶ年)			791,458	438,270			

・23年度は、41事業のうち5市町村10事業に 108,962 千円を交付する予定。

事業名	市町村等	率	対象額(千円)	補助額(千円)	審査日	完了日	備考
食育プラザ整備事業	四万十市	2/3	16,262	10,806	H23. 3. 18	H24. 3. 10	㈱まちづくり四万十
農業所得安定向上支援事業※	三原村	2/3	45,208	30,138	H23. 4. 26	H24. 3. 10	村、村農業公社
竜ヶ浜自然体験施設等整備事業	大月町	1/2	114,654	50,000	H23. 4. 26	H24. 3. 15	町、町観光協会
山林資源を活用した製炭事業	大月町	2/3	8,635	5,756	H23. 4. 26	H23. 10. 31	備長炭生産組合
キビナゴケビ 向上支援事業	大月町	1/2	14,521	7,265	H23. 5. 31	H24. 2. 28	八重丸水産
土佐の宗田節販路拡大事業	土佐清水市	1/6	4,993	832	H23. 5. 31	H24. 3. 10	宗田節をもっと知って もらいたい委員会
竜串観光再発見事業	土佐清水市	1/2	2,331	1,165	H23. 12. 1	H24. 3. 15	土佐清水市
審査会対応(7件)			206,604	105,962			
ユズ加工品消費拡大事業	四万十市	1/2	2,000	1,000	H23. 5. 25	H24. 3. 15	J A 高知はた
通年加工・販売をめざした商品 開発販売ステップアップ事業	宿毛市	1/2	2,455	1,000	H23. 8. 10	H24. 2. 28	(株)沖の島水産
トマトのブランド力推進による 販売力強化事業	土佐清水市	1/2	2,013	1,000	交付決定後	H24. 3. 15	峯本農園
ステップアップ事業(3件)			6,468	3,000			
計(10件)			213,072	108,962			
計(3ヶ年)			1,004,530	547,232			

※は、前年度からの継続事業

② 主な事業の進捗状況

「黒潮印ビジネス創造事業:H21～H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：黒潮町、目的：町特産品開発推進協議会（営業主）の基盤強化と商品開発、販路開拓等。
- ・取組内容：販売戦略づくり、加工・精糖・保管施設(約 400 m²)の建設、大手流通業者への原料供給、ラッキョウ商品化、サトウキビ作付拡大、組織充実等。
- ・成果：黒糖は H21→約800kg、H22→約 1.3t、H23→約2. 2t。大手カン糖業者(兵庫県)がカルン糖商品化。地域内外での原材料としての取引拡大。特産品開発協議会で新商品づくりにも着手。サトウキビ生産者の作業負担軽減。ラッキョウ漬、天日塩など黒糖以外の商品化実現。ラッキョウ漬(H23.5～)は県内量販店と約800kgの取引。H24 は5tの取り引き要請あり。H24 は施設拡充計画あり。

「大月まるごと販売事業:H21～H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：(財)ふるさと振興公社、目的：商品揃えの拡充、販促展開、町の魅力の情報発信、販売拡大等。
- ・取組内容：新商品づくり、地産地消・地産外商の取り組み拡大（道の駅の賑わいづくり、外販や通販の仕組みづくり、産振アドバイザーの活用など）、加工場整備・直売り場の改修等。
- ・成果：売上額 H20→153 百万円。H21→159 百万円。H22→169 百万円。新商品開発 13 アイテム。2009 土佐のいい物おいしい物発見コンクールで「きびなごガーデン」が優秀賞を受賞。通販のシステム構築。伊勢丹、西武百貨店など首都圏での販路拡大。福岡サーパスでの大月商品販売など。自己資金で、商品開発や町内加工グループ育成などにも取り組んでいる。

「魚加工施設の整備事業:H21 産振補助金活用」

- ・事業主体：すくも湾漁協 目的：魚の加工場建設による漁業者の所得向上並びに地域活性化。
- ・取組内容：水産加工施設・冷凍庫・保冷車を整備し、すくも湾で獲れた鮮魚を加工・販売し、地産地消・地産外商並びに漁業者の所得向上、雇用の創出を図る。

- ・成果：新たな常勤雇用4名（3名は加工、1名は配送）で、加工から配送を実施。H23.10時点で取引先が36社まで拡大（病院や学校の給食用食材が中心）し、順調に売り上げを伸ばしている。
また、漁価が上昇（ハダイ150円/kg→500円/kg）して漁業者の所得向上につながっている。

「カツオ文化のまちづくり事業：H21～H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：黒潮町・町商工会(佐賀支所)、目的：カツオの新商品開発・販売、「日戻りカツオ」PR、地域活性化。
- ・取組内容：新商品開発(カツオカツ、カツオ団子、カツオジャーキー、かつ茶漬け)、「黒潮一番館」の店舗改装、産振アドバイザー活用(黒潮一番館の運営強化)、カツオの町佐賀のPR等。
- ・成果：「黒潮一番館」年間利用者 H20→6,400。H21→8,500。H22→9,300。H23～通年営業開始。開発済み商品「カツオカツ」はタタキとセット販売、町内での販売でH22→180百万円。H23(11月まで)→250百万円。今後も、町の支援などにより、「カツオのまち」佐賀のPRを継続。

「農業所得安定向上支援事業：H21～H23 産振補助金活用」

- ・事業主体：三原村農業公社、目標：栽培面積ユズ100ha、ブロッコリー30haの産地化、農業産出額約12億円。
- ・取組内容：農業公社が中心となり、「三原村独自の農業支援システム」を構築（ユズの産地化、露地野菜の産地化、農業機械リース、農作業受委託など）し、高齢農業者支援と農業後継者の育成。
- ・成果：公社の体制を強化(1人→7人)し10haのユズ直接栽培を開始。ユズ栽培面積の増加7.6ha/H20→22.1ha/H22(部員数の増加13名/H20→44名/H22)。ユズの商品化「ゆずジュース」「ゆず茶」「ゆず胡椒」「ユズトマ商品」と販売促進。

「直七搾汁施設整備事業：H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：直七生産組合、目標：H26年に作付本数16千本、生産量376t、買取額47百万円。
- ・事業内容：宿毛の直七を新たな基幹作物として、搾汁工場を整備し加工商品による地産地消・地産外商を進め、耕作放棄地の解消並びに農業所得の向上を図る。
- ・成果：H23.1月搾汁装置が「地場産大賞」を受賞。加工商品が「地場産業賞」を受賞。H22.10月から搾汁開始。果汁品質向上、生産履歴チェックも可能となり、大手のキューピー(株)に提供開始。H23.2月直七の販売促進会社「直七の里株式会社NC」設立。収穫量は18t/H22→36t/H23に増加。直七加工商品は「直七の里ぼん酢しょうゆ」「直七の果汁100%」「直七とゴマのドレッシング」など6商品。

「苺を核とした6次産業：H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：(株)苺氷り本舗(大月町)、目的：販路拡大、大月町を全国発信。
- ・事業内容：新商品開発(プレミアムアイス：県内製菓業者と連携)と広域での販売促進(試食プレゼン等)の実施。販促は九州、中国地方、道の駅ふれあいパーク大月、南国SA等。
- ・成果：プレミアムアイス販売実績H22→600個。H23→1,800個。「苺氷り」販売店舗H22→91店舗。H23→120店舗。主力商品「苺氷り」は順調に販売を伸ばしている。大月町ふるさと振興公社と協力し、地産外商に取り組み始めている。

「水産物流通加工体制整備事業：H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：(株)ピアサティ〔外食チェーングループ(岡山市)〕、目的：宿毛市内の魚の加工場増設と供給量の拡大
- ・取組内容：既存の鮮魚加工施設を増設し、より多くの1次加工商品を自社チェーン店舗に提供することで、地産外商の拡大を図ると共に連携事業者(養殖業者)の所得向上並びに雇用の創出を図る。
- ・成果：東日本大震災の影響を受け、春先は出荷量減少となったが、その後は計画に近い出荷を続けている。加工施設の拡大により、新たに贈答用商品の製造が可能となりH23.10からグループ店舗で販売開始。業務の拡大に伴い、雇用者の応募(5～6名程度)をハローワークで実施中。

「サメ加工利用委託事業:H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：土佐清水市水産振興協議会 目的：害魚サメを商品化してサバ漁の被害減少させ所得向上を図る。
- ・取組内容：土佐清水漁業指導所と連携し、加工品の開発・製造（ドッグフード、塩干物等の開発）。販路拡大。
- ・成果：「ドッグフード」は大手ペット用品会社との連携により販売開始(H23(11月まで)→6000パック)。「塩干物」は大阪の居酒屋チェーンとの取引(少量)。今後、ドッグフードの販売拡大を目指し、同時にサメ漁の操業回数を増やす。

「民間企業連携・水産販路拡大事業:H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：すくも湾漁協、目的：魚の加工場建設。施設貸付で首都圏の外食チェーン店(DD社)へ食材供給
- ・取組内容：水産加工施設(約360㎡)を整備、すくも湾で獲れた鮮魚を加工して首都圏のDDチェーン店舗に出荷(地産外商)することで雇用の拡大と漁業者の所得向上を図る。
- ・成果：新たに9名の雇用(工場長1名、加工従業員8名)が創出された。加工場はH23.3に完成したが、東日本大震災の影響で本格稼働が4月20日まで遅れた。加工作業員の作業効率向上が当面の課題ではあるが1次加工商品の評価は高い。

「四万十栗加工施設整備事業:H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：(株)しまんと美野里 目的：四万十栗の復活、栗を核とした地域おこし、環境保全。
- ・取組内容：四万十川流域で生産される四万十栗を「氷感庫(特許)」を導入して長期保管し、加工した商品を大手菓子業者に販売。地産外商並びに雇用の創出、農業所得の向上を図る。
- ・成果：「氷感庫」の特徴である長期保存・糖分上昇は確認され、大手菓子メーカーとの販売契約が進んだ。地元・菓子メーカー等の関係者で構成される「四万十川を良くする会」を結成し、賛助金を募って栗産地を支援する取り組みを開始。雇用者の創出は常勤雇用1名。

「土佐清水市地域再生計画:H22 産振補助金活用」

- ・事業主体：土佐食(株) 目的：ペットフード安全法に対応した製造、新商品開発。
- ・取組内容：高温滅菌装置、充填式レトルト装置整備。
- ・成果：売上高H21→1,255百万円。H23→1,363百万円。雇用H22→170人。H23.11→190人。3年間で生産量10%増、雇用10名増の目標を既に達成。

「食育プラザ整備事業:H23 産振補助金活用」

- ・事業主体：「(株)まちづくり四万十」、目的：四万十市中心商店街の活性化と地産地消
- ・事業内容：四万十市中心商店街の空き店舗を改修(総菜部門の新設含む)し、地元農産物の集荷・販売・食育を進め、中心市街地の高齢者(買い物難民への宅配等)支援と中心市街地の活性化を推進。併せて近隣農業者の所得向上を図る。
- ・成果：H23.9.17に改装オープン。雇用の創出(常勤2名、パート3名)。9月10月の売上額はH22対比154%、135%と順調に推移。

「竜ヶ浜自然体験及び環境教育型施設整備等基本計画調査事業:H22 ステップアップ事業、H23 産振補助金活用」

- ・事業主体：大月町 目的：竜ヶ浜の海岸にキャンプ場を整備、体験メニュー作りで観光振興と交流人口拡大等。
- ・取組内容：キャンプ場整備の基本設計、観光客(キャンパー等)へのニーズ調査等。
- ・成果：H24.4施設オープン予定

「町内の持続可能な山林資源を活用した製炭事業:H23 産振補助金活用」

- ・事業主体：大月町 目的：町内に豊富な森林資源で備長炭を生産。雇用と販売を増やし産業づくり推進。
- ・取組内容：備長炭の製炭用窯整備（10ト用）2基、将来は20基、雇用30名（うち臨時10）を目指す。
- ・成果：H23.10～製炭窯1基稼働（町有窯と併せて2基稼働中）。本年度生産分は、販売先確保。

「きびなご加工商品の生産体制強化事業:H23 産振補助金活用」

- ・事業主体：八重丸水産 目的：「きびなごケビ」の増産のための機械・施設等の整備と販路の拡大。
- ・取組内容：作業環境の改善のための施設改修、攪拌機購入による生産効率アップ、商品ブランド化と雇用増
- ・成果：H24.2～施設稼働予定。施設整備による増産はこれからだが、首都圏スーパーマーケットとの取引開始など、販路を拡大中。H23「地場産大賞奨励賞」受賞。

竜串観光再発見基本計画策定事業(土佐清水市):H22 ステップアップ事業、H23 産振補助金活用

- ・事業主体：土佐清水市 目的：竜串観光の振興、サンゴを核とした竜串の環境保全。
- ・取組内容：観光資源を検証するためのワークショップ開催、観光客への調査によるニーズ把握、H24 ゴールデンウィークに向けたPR（H24.3月・4月号じゃらん特集記事掲載）。
- ・成果：地元での観光資源の見直しの機運が高まり、自発的なイベント開催などを継続。

四万十市の地元食材を使用したかりんとう開発販売事業(H22 ステップアップ事業)

- ・事業主体：有限責任事業組合LLPしまんと、目的：四万十川流域産の食材利用したお菓子開発・販売。
- ・取組内容：新商品の開発（かりんとう6品→10品）と販路開拓並びに販路促進。
- ・成果：首都圏のチャール・ローソ（約60店舗）に4月から供給開始。雇用の創出6名。

③ その他の進捗状況

「廃菌床の活用等、地域資源活用型農業の推進:H22 県単事業」

- ・事業主体：「JA高知はた」
- ・事業内容：黒潮町佐賀地区に廃菌床の堆肥化施設整備・稼働させ有効活用を図る。
- ・成果：H23.3 施設完成。23年度から稼働。堆肥使用量300tを目標。雇用1名発生（ふるさと雇用を活用）。堆肥はハウス農家などが活用中。

「幡多広域における滞在型・体験型観光の推進」

- ・事業主体：幡多広域観光推進協議会（H22.6.15 社団法人化）
- ・取組内容：従来の教育旅行中心の受入継続し、体験メニュー等を育てて一般向けの着地型旅行商品を企画販売。
- ・成果：教育旅行ではH22年度は3,082名となり、23年度の目標を達成した。

産業振興アドバイザーの活用

- ・前掲の「水産物流通加工体制整備事業（宿毛市）」・「四万十栗加工施設整備事業」
「大月まるごと販売事業（大月町道の駅）」・「カツオ文化のまちづくり事業」
「四万十市の地元農産物を使った商品開発事業（LLP 四万十）」など。

「目指せ弥太郎商人塾」(講師:玉沖氏、臼井氏、寺本氏)H22・23 実施

- ・概要：ステップ2参加(延べ)37事業者。(うち幡多地域5事業者)。